

共謀罪で監視社会はようになる？

私たちの闘い方を考えよう！

●小笠原みどりさん (ジャーナリスト)

スノーデンの共謀罪への警鐘をふまえて、情報操作に対抗するためのデータ民主主義の可能性についてお話しいただきます。

著書『スノーデン、監視社会の恐怖を語る 独占インタビュー全記録』(毎日新聞出版) など

●小倉利丸さん (批評家)

網羅的な監視状況のなかで、異議申し立て運動が「話し合う」自由を確保するための運動文化の創造について、お話しいただきます。

著書『絶望のユートピア』(桂書房) など

★アピール (それぞれの現場から)

マイナンバー (共通番号) 制
2020 オリンピック
反基地ほか

* 何とも悔しい限りですが、共謀罪が成立しました。共謀罪は、戦前の治安維持法の再来という声もあり、これまで私たちが経験したことのないような、驚天動地の特高警察まがいの弾圧がありえるかもしれません。労働運動、政治活動、地域の住民運動からグローバルな社会運動を支えてきた言論・表現の自由や基本的人権が危機にさらされる時代が到来してしまうのでしょうか。

* 他方で、日常生活から軍事技術までIT技術を駆使した監視社会であること、ネットを巻き込んだ対テロ戦争に米国の同盟国として加担していることなど、戦前の日本と大きく異なる状況もあり、単純な戦前回帰ではないことも確かです。

* 何はともあれ、メゲてる場合ではありません。共謀罪をなんとかして仮死化させ、廃止へと追いやり、網羅的監視の網の目を破るために私たちにできることはまだまだ沢山あるはずですよ。

* 本集会では、小笠原みどりさんと小倉利丸さんを講演者に招いて、今後の監視社会がどうなるのか、また共謀罪下で私たちの闘い方をどのように再構築する必要があるのかなど、反転攻勢の手掛かりを参加者の皆さんと一緒に議論しようと思います。ふるってご参加ください。



◆日時：8月3日 (木) 18:30

◆会場：文京区民センター2A

◆主催：盗聴法廃止ネットワーク

◆協賛：共謀罪 NO! 実行委員会
共通番号いらないネット
JCA—NET

◆資料代：500円

◆連絡先：090-6138-9593

